

授業科目	中国語入門				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10504J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	陳 青鳳							
授業概要	<p>中国は国土が広く、56の民族で構成されているため、南北では、文化はもちろん言葉も相互に外国語に等しい。従って、標準的な正しい発音を身に付けることは特に重要なことである。この授業は、初めて中国語を習う人を対象に、先ず正確に現代標準中国語の発音を習得する。それから、基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。また、中国語の学習を通して、中国の文化や風習などを知り、より広い世界観を得られるようになることを期待する。</p> <p>この授業は講義形式と演習形式で行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>①発音記号(ピンイン)を学び、正しく表記し発音することができる。</p> <p>②基本的な文法を理解し、それを活用して簡単な文章を書くことができる。</p> <p>③基礎の文型を応用して、日本語訳をすることができる。</p> <p>④授業で学んだ表現を話したり聞き取ったりすることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	0	20	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30	10		10	10		60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	20	10		10			40	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>最終的には平易な文章を読むことができる。</li> <li>授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を身に付けることができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な発音の基礎練習から始め、順次に簡単な会話を表現することができる。</li> <li>基本的な文法を取り入れ簡単な文章を書くことができる。</li> </ul>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ: 中国語の学習について 授業の概要や目的について説明し、その履修方法、達成の目安、評価の内容を理解する。			シラバスを用いて 授業全体の説明を行う。		シラバスの内容を読む。		60

	標準中国語の特徴を解説し、簡単な発音練習をする。	簡単な発音練習をする。		
2	テーマ:発音編練習(1) 学習内容:①中国語の構造 ②発音の特徴 ③声調と四声 ④単母音	講義と発音の練習をする。	復習:四声を正しく発音する。 予習:p. 10～ の練習問題を解答する。	60
3	テーマ:発音編練習(2) 学習内容:①複母音 ②鼻母音	講義と発音の練習をする。	復習:四声を正しく発音し、正確に聞き取ることができる。 予習:p. 10～ の練習問題を解答する。	60
4	テーマ:発音編練習(3) 学習内容:①子音 ②r化音 ③数字0～99の言い方	講義と発音の練習をする。	復習:複母音の発音を区別できるように練習する。 予習:p. 14～ の練習問題を解答する。	60
5	テーマ:発音編練習(4) 学習内容:①挨拶語 ②ピンイン表記のルール	講義と発音の練習をする。	復習:鼻母音を正確に判断できるように、声を出して練習する。 予習:p. 18～ の練習問題を解答する。自分の名前の中国語の発音を調べる。	60
6	テーマ:第1課 学習内容:①“是”構文 ②疑問文 ③人称代名詞	講義と会話の練習をする。	復習:声調の組み合わせを練習する。 予習:第1課の会話文の発音を練習する。	60
7	テーマ:第1課の復習 学習内容:①第1課で学んだ文法について正しい運用ができているか、確認する。②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。	講義と練習問題を解く。	復習:p. 22～ のポイントを理解する。 予習:第2課の単語の発音を練習する。	60
8	テーマ:第2課 学習内容:①動詞述語文 ②疑問詞疑問文 ③語気助詞	講義と会話の練習をする。	復習:第1課の会話文を暗唱する。 予習:第2課の会話文の発音を練習する。	60
9	テーマ:第2課の復習 学習内容:①第2課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。	講義と練習問題を解く。	復習:p. 28～のポイントを理解する。 予習:第3課の単語の発音を練習する。	60
10	テーマ:第3課 学習内容:①形容詞述語文 ②指示代名詞 ③副詞”也”と”都”	講義と会話の練習をする。	復習:第2課の会話文を暗唱する。 予習:第3課の会話文の発音を練習する。	60
11	テーマ:第3課の復習 学習内容:①第3課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。	講義と練習問題を解く。	復習:p. 34～ のポイントを理解する。 予習:第4課の単語の発音を練習する。	60
12	テーマ:第4課 学習内容:①数字の言い方 ②数量詞 ③動詞”有”	講義と会話の練習をする。	復習:第3課の会話文を暗唱する。 予習:第4課の会話文の発音を練習する。	60
13	テーマ:第4課の復習 学習内容:①第4課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。	講義と練習問題を解く。	復習:p. 40～のポイントを理解する。 予習:予習:第5課の単語の発音を練習する。	60
14	テーマ:第5課 学習内容:①場所の指示代名詞 ②存在文 ③年月日の言い方 ④連動文	講義と会話の練習をする。	復習:第4課の会話文を暗唱する。	60

			予習:第5課の会話文の発音を練習する。	
15	テーマ:第5課の復習と前期のまとめ 学習内容:①第5課で学んだ内容について正しい運用ができているか、確認する。②練習問題を解いて、注意点の解説を行う。③前期の総合復習を行う。	講義と練習問題を解く。	復習:発音編及び第1課~第5課の構文を復習する。 予習:なし	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	①CDを使って、毎課の会話文の発音を予習すること。 ②習った内容を反復練習すること。			
テキスト	シンプルチャイニーズ・東京(会話編)(早稲田大学理工学術院中国語部会著、朝日出版社)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	①標準中国語辞典(上野恵司 著 白帝社) ②漢語学習辞典(相原茂 著 朝日出版社)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	①この授業は実際に受講する皆さんに発音などの発表があるので、必ず講義の復習を行ってください。 ②各種の中国語検定試験に積極的に参加してください。 ③学習マナー(遅刻、私語、他人に迷惑な行為など)は徹底すること。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"><li>①自主的に単語や簡体字の練習帳を作成してください。</li><li>②積極的に HSK 検定に参加してください。</li><li>③毎週の復習発表や小テストの内容については、授業の中で指示をする。</li><li>④提出した課題に添削指導を行い並びにコメントを記入する。</li></ul>
--------------------------------	---